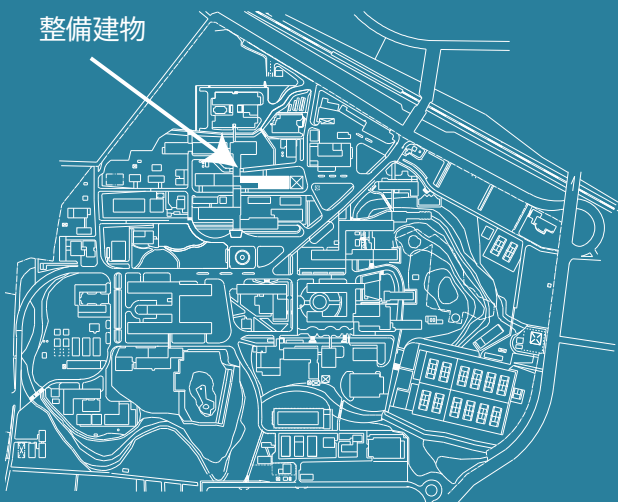




整備建物



三浦団地構内配置図

本事業は老朽化の著しい工学部E棟(経年40年)の機能改善を行った。工学部E棟は、本学工学部の土木工学分野における教育・研究の基盤的施設として、これまでに戦略的イノベーション創造プログラム(JST)採択事業においてインフラ維持管理システムを開発するなどの実績を挙げてきた。さらに、これまでの研究成果をもとに異分野を融合した先端的な技術開発を進めていくため、老朽改善と併せてエンジニアリング・デザイン教育を効率的に展開する問題解決型学習(プロジェクト・ベースド・ラーニング)スペース、研究設備の共用を図るリサーチcommonsなどを整備し、施設機能を強化した。

このようにキャンパス整備を進め、キャンパス全体を「共創の拠点」とすることで、イノベーションの創出を目指す人材養成と研究開発が促進され、豊かで安心できる地域社会の実現に貢献することができる。

工事場所：鳥取市湖山町南4丁目101番地
延べ面積：2,320㎡(改修延べ面積)
建築面積：956㎡
構造階数：鉄筋コンクリート造 地上4階建て
工 期：令和5年7月～令和6年2月

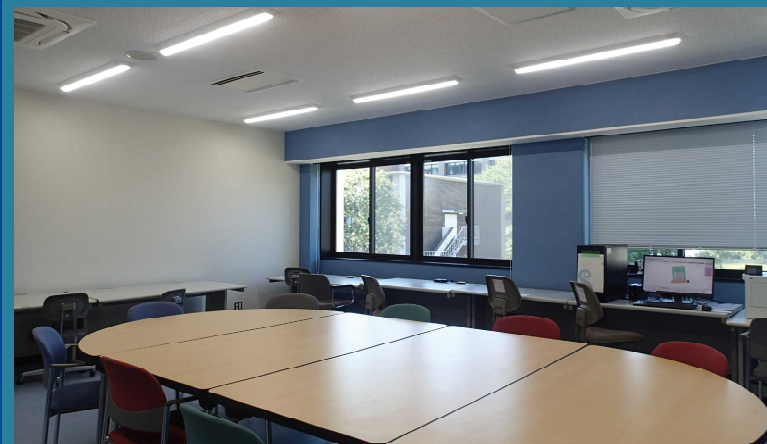
令和5年度 鳥取大学(三浦) 工学部E棟改修



▲プロジェクト・ベースド・ラーニングスペース(4階)



▲プロジェクト・ベースド・ラーニングスペース(3階)



▲リサーチcommons